

平成30年度における施策
の成果並びに予算執行の
実績に関する説明書

(決算附属資料)

1 決算の概要

平成30年度一般会計歳入歳出決算については、歳入総額1,879,237,963円、歳出総額1,856,243,139円で、歳入歳出差引額22,994,824円となりました。

平成28年度～平成30年度決算の推移

(単位：千円)

	28年度	29年度	30年度	前年度比較(H30-H29)	
				増減額	増減率
歳入	1,876,391	1,921,656	1,879,238	△42,418	△2.2%
歳出	1,829,613	1,885,342	1,856,243	△29,099	△1.5%
歳入歳出差引額	46,778	36,314	22,995	△13,319	△36.7%

実質収支は翌年度へ繰り越すべき財源はないため、歳入歳出差引額と同額となっており、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、△13,319千円となりました。前年度繰越額は36,314千円で、19,100千円を財政調整基金に積立てました。

この結果、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、前年度と比較して8,755千円減少となりましたが、5,781千円の黒字となりました。

平成28年度～平成30年度決算収支の状況

(単位：千円)

	28年度	29年度	30年度
1 歳入総額	1,876,391	1,921,656	1,879,238
2 歳出総額	1,829,613	1,885,342	1,856,243
3 歳入歳出差引額 (1-2)	46,778	36,314	22,995
4 翌年度へ繰り越すべき財源額	0	0	0
5 実質収支額 (3-4)	46,778	36,314	22,995
6 単年度収支 (5-前年度分5)	△7,239	△10,464	△13,319
7 財政調整基金積立金	29,000	25,000	19,100
8 財政調整基金取崩額	0	0	0
9 実質単年度収支 (6+7-8)	21,761	14,536	5,781

2 歳入

収入済額を前年度と比較すると、42,418千円（△2.2%）の減少となりました。消防施設整備事業に伴う組合債の減少が主な要因となっています。

平成28年度～平成30年度歳入の推移

（単位：千円）

	28年度		29年度		30年度		前年度比較(H30-H29)	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分 担 金 及 び 負 担 金	1,698,141	90.5%	1,703,757	88.7%	1,737,939	92.5%	34,182	2.0%
使 用 料 及 び 手 数 料	1,742	0.1%	1,888	0.1%	2,040	0.1%	152	8.1%
国 庫 支 出 金	26,840	1.5%	—	—	—	—	—	—
財 産 収 入	2,293	0.1%	1,799	0.1%	1,483	0.1%	△ 316	△17.6%
繰 入 金	0	0.0%	0	0.0%	—	—	—	—
繰 越 金	54,017	2.9%	46,778	2.4%	36,314	1.9%	△ 10,464	△22.4%
諸 収 入	30,758	1.6%	22,734	1.2%	26,162	1.4%	3,428	15.1%
組 合 債	58,600	3.1%	144,700	7.5%	75,300	4.0%	△ 69,400	△48.0%
寄 附 金	4,000	0.2%	—	—	—	—	—	—
合 計	1,876,391	100%	1,921,656	100%	1,879,238	100%	△ 42,418	△2.2%

(1) 款別決算状況

1 款 分担金及び負担金

収入済額 1,737,939千円、前年度と比較すると 34,182千円増となりました。

※「頁」は決算書（事項別明細書）のページを示しています。（以下同じ）

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 分担金 1. 事務組合分担金	1,736,700	1,736,700	5, 6

前年度から 34,200千円増となりました。

均等割 33% 人口割 67% ※淡路広域消防事務組合規約による

洲本市 572,089千円 (32.94%)

南あわじ市 594,940千円 (34.25%)

淡路市 569,671千円 (32.80%)

歳入	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	頁
	2. 負担金 1. 緊急通報センター負担金	1,000	1,000	5, 6
	2. 負担金 2. 移譲事務負担金	238	239	

緊急通報装置は、指令センターで運用管理しており、高齢の独居者を対象とした緊急通報システムで、淡路広域行政事務組合から事務を受託しています。前年度から増減はありません。

移譲事務は、高圧ガス、液化石油ガス及び火薬類の保安に係る事務を構成3市から受託しています。前年度から19千円減となっています。

洲本市 116千円 南あわじ市 82千円 淡路市 41千円

2款 使用料及び手数料

歳入	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	頁
	1. 手数料 1. 手数料	1,902	2,040	5, 6

危険物申請手数料、り災証明手数料による収入で、前年度から152千円増となりました。

3款 財産収入

歳入	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	頁
	1. 財産運用収入 1. 利子及び配当金	927	927	5, 6

財政調整基金利子による収入で、前年度から319千円増となりました。

歳入	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	頁
	2. 財産売払収入 1. 物品売払収入	556	556	5, 6

救急車更新事業に伴い、救急車売却による売払収入で、前年度から634千円減となりました。

4款 繰越金

前年度繰越金 36,314千円、前年度と比較すると、10,464千円減となりました。

5 款 諸収入

歳入	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	頁
	1. 雑入 1. 救急支弁金		14,700	14,700

神戸淡路鳴門自動車道における救急業務に関する支弁金で、2,281千円増となりました。

歳入	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	頁
	1. 雑入 2. 雑入		10,147	11,462

前年度から1,146千円増となりました。

○主な内容と収入済額

県防災ヘリ航空隊派遣職員給与負担金・派遣助成金	8,185千円
車両事故共済金	1,352千円
健康診断助成金	783千円

6 款 組合債

歳入	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	頁
	1. 事務組合債 1. 消防債		75,300	75,300

前年度は、大型車両(救助工作車)の更新事業があり、それに伴い組合債が前年度と比較し、69,400千円減となりました。

○内訳

西淡出張所ポンプ自動車更新事業	事業費 39,528千円	起債額 39,500千円
由良出張所救急自動車更新事業	事業費 27,756千円	起債額 27,700千円
洲本署資機材搬送車整備事業	事業費 8,154千円	起債額 8,100千円

3 歳出

支出済額を前年度と比較すると、29,099千円減（△1.5%）となりました。車両整備事業に伴うもので消防費の減少が主な要因となっています。

平成28年度～平成30年度歳出の推移

（単位：千円）

	28年度		29年度		30年度		前年度比較(H30-H29)	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議会費	203	0.0%	196	0.0%	196	0.0%	0	0.0%
総務費	95,762	5.2%	92,274	4.9%	86,886	4.7%	△5,388	△5.8%
消防費	1,554,444	85.0%	1,578,303	83.7%	1,548,999	83.4%	△29,304	△1.9%
公債費	179,204	9.8%	214,569	11.4%	220,162	11.9%	5,593	2.6%
予備費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,829,613	100%	1,885,342	100%	1,856,243	100%	△29,099	△1.5%

(1) 目的別決算状況

1 款 議会費

歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 議会費 1. 議会費	224	196	9, 10

平成30年度において、定例会2回、臨時会2回の計4回を開催しました。

2 款 総務費

歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 総務管理費 1. 一般管理費	71,190	67,651	9, 10

一般管理費は、構成3市からの派遣職員人件費の他、組合全般に係る人事・給与、財務・会計等の管理事務に要する経費、情報セキュリティ対策等に要する経費、庁舎維持管理に要する経費、職員の衛生並びに服制及び諸貸与品に要する経費等を支出しています。

前年度から515千円増となりました。

○主な内容と支出済額

- ・ 嘱託職員人件費（賃金、共済費） 2,684 千円
- ・ 需用費（消耗品費、被服費、修繕料等） 16,954 千円
- ・ 委託料（保守点検・維持管理・業務委託） 11,706 千円
- ・ 使用料及び賃借料（システム使用料、賃借料等） 8,738 千円
- ・ 派遣職員給与負担金（3名） 25,375 千円

歳 出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 総務管理費 2. 財政調整基金費	19,100	19,100	11, 12

組合財政の健全な運営に資するため財政調整基金を積み立てました。

歳 出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	2. 監査委員費 2. 監査委員費	149	135	11, 12

監査委員費は、監査等実施に要する経費として、監査委員の報酬等を支出しており、前年度から 40 千円増となりました。

- ・ H30. 5. 23 現金出納検査
- ・ H30. 7. 18 現金出納検査、決算審査
- ・ H30. 11. 8 現金出納検査、定期監査

3 款 消防費

歳 出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 消防費 1. 常備消防費	1,476,351	1,462,346	13～18

常備消防費は、消防職員に係る人件費、研修費、旅費、消防車両及び機材の点検整備費用、通信指令システムに係る通信費及び保守管理費用、火災・救急・救助活動に必要な備品等の経費を支出しており、前年度から 37,225 千円増となっています。

○主な内容と支出済額

- ・ 人件費（給料、職員手当等、共済費） 1,361,096 千円
- ・ 需用費（消耗品費、燃料費、修繕料、光熱水費等） 51,299 千円

・ 役務費（自動車損害保険料、通信費等）	8,996 千円
・ 委託料（指令システム保守・機器更新、機材維持管理等）	15,315 千円
・ 使用料及び賃借料（通信回線利用料等）	9,556 千円
・ 備品購入費（指令・予防・警防・救急・救助）	4,663 千円
・ 負担金（消防学校・救命士養成等研修負担金）	8,812 千円

【警防関係】

平成 30 年中の火災件数は 133 件で、前年に比べ 9 件減少、市別の内訳は、洲本市 36 件、南あわじ市 31 件、淡路市 66 件となっており、火災種別では、その他の火災が

火災件数	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
洲本市	31 件	44 件	36 件
南あわじ市	18 件	42 件	31 件
淡路市	35 件	56 件	66 件
計	84 件	142 件	133 件

86 件で全体の 64.7%を占め、次いで建物火災が 36 件で 27.1%となっています。これらの火災により、死者 5 名、負傷者 12 名が発生しました。

救急発生件数は 6,851 件で、前年に比べ 576 件増加、市別の内訳は、洲本市 2,252 件、南あわじ市 2,109 件、淡路市 2,484 件であり、事故種別では、急病が 4,000 件で全体の

救急件数	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
洲本市	2,061 件	2,148 件	2,252 件
南あわじ市	1,873 件	1,942 件	2,109 件
淡路市	2,222 件	2,178 件	2,484 件
その他	7 件	7 件	6 件
計	6,163 件	6,275 件	6,851 件

58.4%を占め、次いで一般負傷が 1,170 件で 17.1%となっています。

救助発生件数は 149 件で、前年に比べ 25 件増加、市別の内訳は、洲本市 44 件、南あわじ市 57 件、淡路市 46 件であり、事故種別では、その他の事故が 43 件で全体の 29%を占め、次いで交通事故が 39 件で 26.2%となっています。

救助件数	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
洲本市	32 件	40 件	44 件
南あわじ市	38 件	43 件	57 件
淡路市	31 件	40 件	46 件
その他	1 件	1 件	2 件
計	102 件	124 件	149 件

その他の災害（救急支援、調査・警戒等を総称してその他の災害としています。）の

その他出動 件数	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
	296 件	353 件	371 件

発生件数は 371 件で、前年に比べ 18 件増加、災害種別では、救急支援が 194 件で全体の 52.3%を占め、次いで調査・警戒が 38 件で 10.2%となっています。

【通信関係】

119 番受信件数は前年と比べ 551 件増加し、9,786 件となりました。通報種別

119 番受信 件数	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
	8,908 件	9,235 件	9,786 件

では、救急が 6,060 件で全体の 61.9%を占め、病院紹介 630 件、通報訓練 289 件のほか、いたずら・間違いが 249 件ありました。

【予防関係】

火災予防及び初期消火体制の確立は、一般家庭、事業所を問わず非常に重要です。今年度は、住宅防火対策の推進、法令改正に伴う関連事業所に対する指導及び危険物施設の適法・適正な維持管理の徹底について重点的に取り組みました。



特に秋の火災予防運動時に各市で実施した防火キャ

ンペーンでは、淡路消防保安協会、女性消防団及び保育園児とともに啓発品やパンフレットの配布、住宅用火災警報器のアンケート調査を実施するなど、市民の皆様の防火防災に対する意識の一層の高揚を図りました。

歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 消防費 2. 消防施設整備費	85,017	84,063	17, 18

消防施設整備費は、庁舎管理に係る工事費、車両整備事業に要した費用を支出しています。前年度は大型車両（救助工作車）の更新事業があったため、前年度と比較すると 66,916 千円減となっています。

今年度、庁舎関係では、消防車・救急車の大型化に伴い五色出張所庁舎の車庫間口改修工事、岩屋分署の空調設備改修工事、由良出張所庁舎の耐震診断を実施しました。

車両整備においては、西淡出張所ポンプ自動車及び由良出張所救急自動車の更新、また近年増加傾向にある緊急消防援助隊の出動に備えるため、資機材搬送車を新たに配備しました。

○主な内容と支出済額

五色出張所車庫間口改修工事費	4,871千円
岩屋分署空調設備改修工事費	1,328千円
由良出張所庁舎耐震診断業務委託料	939千円
西淡出張所配備ポンプ自動車購入費	39,528千円
由良出張所配備救急自動車購入費	27,756千円
洲本消防署配備資機材搬送車購入費	8,154千円



西淡出張所ポンプ自動車



由良出張所救急自動車



洲本資機材搬送車

歳 出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 消防費 3. 国民保護法管理費	2,590	2,590	17,18

国民保護法管理費は、国民保護法、他関係法令に基づき、武力攻撃等における災害に対応するための機材整備費用を支出しており、前年度から 387 千円増となっています。

○内容と支出済額

- ・ 空気呼吸器及び高圧ガス容器購入費 2,495 千円
- ・ 携帯警報器購入費 95 千円

4款 公債費

歳出	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
	1. 公債費 1. 元金		212,067	212,067
1. 公債費 2. 利子		8,096	8,095	20

平成23年度借入の南淡分署ポンプ自動車更新事業の元金償還が終了したものの、平成28年度借入の西淡出張所救急自動車、洲本署化学自動車更新事業の元金償還が開始となったため、前年度から5,593千円増となりました。

公債費の状況

借入年度	事業名	発行総額	償還金		未償還残高	利率	償還終期 年月日
			当年度償還金	償還金累計			
		円	円	円	円	%	
平成23年度	南淡ポンプ車	22,200,000	3,700,000	22,200,000	0	0.30	H31.3.31
平成23年度	南淡ポンプ車	7,200,000	1,200,000	7,200,000	0	0.98	H31.3.31
平成24年度	津名救急車	15,700,000	2,616,000	13,084,000	2,616,000	0.20	R2.3.31
平成24年度	津名救急車	7,700,000	1,282,000	6,418,000	1,282,000	0.90	R2.3.31
平成24年度	消防救急デジタル無線実施設計	1,500,000	187,118	744,007	755,993	0.40	R5.3.20
平成25年度	岩屋ポンプ車 津名ポンプ車	51,300,000	8,550,000	34,200,000	17,100,000	0.20	R3.3.31
平成25年度	消防救急デジタル無線	144,300,000	16,032,000	64,140,000	80,160,000	0.60	R6.3.31
平成25年度	高機能消防指令センター	73,400,000	10,484,000	41,948,000	31,452,000	0.58	R4.3.31
平成25年度	新庁舎建設工事	46,200,000	3,218,993	12,742,103	33,457,897	0.70	R11.3.20
平成26年度	衛星通信初ワーク施設 高機能消防指令センター	190,900,000	27,270,000	81,820,000	109,080,000	0.46	R5.3.31
平成26年度	新庁舎建設工事	9,500,000	663,358	1,980,178	7,519,822	0.50	R12.3.20
平成26年度	消防救急デジタル無線	341,400,000	37,932,000	113,808,000	227,592,000	0.53	R7.3.31
平成26年度	新庁舎建設工事	619,400,000	44,200,000	133,200,000	486,200,000	0.78	R12.3.31
平成26年度	洲本救急車	27,600,000	6,903,445	20,689,649	6,910,351	0.10	R2.3.20
平成27年度	洲本ポンプ車・五色救急車	26,900,000	4,482,000	8,972,000	17,928,000	0.10	R5.3.31
平成27年度	新庁舎建設工事	302,200,000	33,576,000	67,168,000	235,032,000	0.35	R8.3.31
平成28年度	西淡救急車	12,100,000	2,020,000	2,020,000	10,080,000	0.01	R6.3.31
平成28年度	洲本化学自動車	46,500,000	7,750,000	7,750,000	38,750,000	0.01	R6.3.31
平成29年度	洲本救助工作車・岩屋救急車	144,700,000	0	0	144,700,000	0.01	R5.3.20
平成30年度	由良救急車	27,700,000	0	0	27,700,000	0.01	R6.3.31
平成30年度	西淡ポンプ車・資機材搬送車	47,600,000	0	0	47,600,000	0.01	R6.3.31
計		2,166,000,000	212,066,914	640,083,937	1,525,916,063		

(2) 性質別決算状況

平成28年度～平成30年度性質別経費の状況

(単位：千円)

	28年度		29年度		30年度		前年度比較(H30-H29)	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	1,390,872	76.0%	1,365,985	72.4%	1,387,348	74.7%	21,363	1.6%
物件費	115,330	6.3%	112,112	5.9%	126,800	6.8%	14,688	13.1%
維持補修費	1,490	0.1%	1,497	0.1%	1,586	0.1%	89	5.9%
補助費等	11,157	0.6%	12,505	0.7%	12,180	0.7%	△ 325	△2.6%
公債費	179,204	9.8%	214,569	11.4%	220,162	11.9%	5,593	2.6%
普通建設事業費	102,560	5.6%	153,674	8.2%	89,067	4.8%	△ 64,607	△42.0%
積立金	29,000	1.6%	25,000	1.3%	19,100	1.0%	△ 5,900	△23.6%
合計	1,829,613	100.0%	1,885,342	100.0%	1,856,243	100.0%	△ 29,099	△1.5%

人件費は歳出全体の74.7%を占め1,387,348千円、前年度から21,363千円増となりました。これは、平成30年度人事勧告による給料表の改定、勤勉手当の支給割合引上げ、また消防職員3名増加や、災害出動件数が増えたこと等による手当の増加を要因とするものです。

物件費は126,800千円、前年度と比較して14,688千円増となりました。これは、主に災害件数が増えたこと等により、それぞれ消耗品費、修繕料、燃料費等が増加となっています。

維持補修費は、各署所庁舎補修等に要した費用で、支出済額1,586千円、前年度と比較して89千円増となりました。

補助費等は、支出済額12,180千円、前年度と比較して325千円減となりました。

公債費は、支出済額220,162千円、前年度と比較して5,593千円増(2.6%)となりました。

普通建設事業費は、支出済額89,067千円、前年度と比較して64,607千円減となりました。主な事業は、五色出張所車庫間口改修工事、岩屋分署空調設備改修工事、洲本消防署配備資機材搬送車購入、西淡出張所配備ポンプ自動車購入、由良出張所配備救急自動車購入、指令システム機器更新業務となっています。

積立金は、支出済額19,100千円、前年度と比較して5,900千円減(△23.6%)となりました。 ※平成30年度末財政調整基金高317,282千円

以上